

令和5年度 串間市立北方小学校 学校関係者評価書

( 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する )

No. 1

評価項目	評価指標	具体的な数値目標等	方策・手立て	評価	結果及び考察・改善策等	学校関係者	
						評価	結果及び考察・改善策等
本年度の重点目標		<p><b>【知】「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成</b> ～子供が「分かった！ できた！」と実感できるような授業～ 基礎・基本の確実な定着を図る取組、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり、補充指導の場の確保、学習のサイクルの確立、読書教育の推進等</p> <p><b>【徳】思いやりの心と豊かなコミュニケーション能力を身に付けた児童の育成</b> 思いやりのある態度、あいさつ、言葉遣い、返事の指導、時と場に応じた行動の指導（無言移動など）、豊かなコミュニケーション能力の指導等</p> <p><b>【体】健康や安全について自ら考え行動し、望ましい生活習慣や体力を身に付けた児童の育成</b> 「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣の確立(特に「早寝」)、「自分の命は自分で守る」ことについての指導、「体力向上プラン」に基づく体力づくりの取組、むし歯予防の指導及び治療率の向上等</p>					
学力の向上	1 望ましい学習習慣の定着を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>立腰の姿勢でしっかり聞いたり書いたりする児童が90%以上</li> <li>家庭学習に決められた時間取り組むことができる児童が90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な学習習慣について、「学習のきまり」に基づいて各学級で継続的に指導する。定着している児童への称賛等により、意欲付けを図る。</li> <li>「家庭学習の手引き」を活用して、家庭への啓発を行う。学級担任による毎日の確認・称賛等により、学年相応の家庭学習の習慣が定着するようにする。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>立腰の姿勢で学習することができていると自覚している児童の割合は41%だった。学習中の姿勢については、今後とも家庭と連携して改善を図る必要がある。</li> <li>家庭学習に決められた時間取り組んでいると答えた児童の割合は65%だった。高学年になるほど、ゲームやYouTubeの視聴時間が長くなる傾向が見られるので、家庭と連携して改善策について検討していきたい。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習中の姿勢については、今後とも継続して指導して行ってほしい。</li> <li>家庭学習については、各家庭での指導が大事だと思う。参観日等を活用して、保護者の啓発をしてはどうか。</li> </ul>
	2 学習内容の基礎・基本の確実な定着を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元テストの知識・技能の到達率90%以上</li> <li>1単位時間の授業の中に習熟の時間を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業において、個に応じた指導を行う。</li> <li>単元計画の中で、知識・理解及び技能を習得させる時間を位置付ける。</li> <li>北方タイムの時間を活用し、習熟を図る。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元テストの知識・技能の到達率では、各学年において、国語・算数ともに、90%程度の定着が見られる。</li> <li>1単位時間の授業の中に習熟の時間を確保するように1年間取り組んできた。来年度もこの取り組みを継続していく。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>よい結果が出ていると思う。継続して取り組んでもらいたい。</li> </ul>
	3 思考力・判断力・表現力及び活用する力を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元テストの思考・判断・表現の到達率80%以上</li> <li>1単位時間の中に書く時間を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業において、自分の言葉で話す、書くなど表現する場を意図的・計画的に設定する。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考力・判断力・表現力に関しての単元テストの得点率では、各学年において、国語は84%、算数は71%程度の定着が見られた。次年度も、算数の活用力向上に向けた取り組みについて研究を進め、改善を図りたい。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>北方タイムで、算数の思考力・判断力を高める取組をしてはどうか。</li> </ul>
	4 進んで本に親しみ、様々な本を読むなかで、豊かな情操をもつ児童を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間読書平均冊数</li> <li>低学年80冊以上</li> <li>中学年50冊以上</li> <li>高学年30冊以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の読書など読書の時間を確保し、図書委員会の取り組みや図書室・市の移動図書館などの活用を通して、本の貸し出しを積極的にに行わせ、読書に親しませる。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月までの読書平均冊数は、低学年100冊、中学年61冊、高学年59冊だった。学校図書館や移動図書を積極的に活用することができた。</li> <li>図書委員会児童が、読書集会を開いたり、ピブリオバトルを実施したりするなどして、児童の読書意欲を高めることができた。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>素晴らしい結果が出ていると思う。読書カードを保護者にも見てもらってはどうか。</li> </ul>
	5 特別な配慮を必要とする児童への適切な指導や支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別な配慮を必要とする児童の個別的教育支援計画・指導計画の作成・活用100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院受診・心理検査を受けた児童には、保護者の了解を得て、個別的教育支援計画・指導計画の作成を6・10・2月に行い、活用をする。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別的教育支援計画・個別的教育指導計画の作成及び活用は、100%である。</li> <li>ケース会議や特別支援教育関係の要請相談を必要に応じて行うことができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も適切な指導や支援を続けてもらいたい。</li> </ul>

令和5年度 串間市立北方小学校 学校関係者評価書

( 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する )

No. 2

評価項目	評価指標	具体的な数値目標等	方策・手立て	評価	結果及び考察・改善策等	学校関係者	
						評価	結果及び考察・改善策等
本年度の重点目標		<p><b>【知】「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成</b> ～子供が「分かった！ できた！」と実感できるような授業～ 基礎・基本の確実な定着を図る取組、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり、補充指導の場の確保、学習のサイクルの確立、読書教育の推進等</p> <p><b>【徳】思いやりの心と豊かなコミュニケーション能力を身に付けた児童の育成</b> 思いやりのある態度、あいさつ、言葉遣い、返事の指導、時と場に応じた行動の指導（無言移動など）、豊かなコミュニケーション能力の指導等</p> <p><b>【体】健康や安全について自ら考え行動し、望ましい生活習慣や体力を身に付けた児童の育成</b> 「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣の確立（特に「早寝」）、「自分の命は自分で守る」ことについての指導、「体力向上プラン」に基づく体力づくりの取組、むし歯予防の指導及び治療率の向上等</p>					
豊かな心の育成	1 学校や地域において、いつでも進んであいさつや元気な返事ができる児童を育てます。	○ 全員が元気なあいさつや返事ができる。	○ 朝のあいさつ運動を通して、「ス・ゲ・エ・あいさつ」に取り組みせ、習慣化を図る。 ○ 保護者に交通立番をお願いし、地域でも進んで気持ちの良いあいさつができるように働きかける。	3	○ 運営委員会の「あいさつ運動」のおかげで、元気なあいさつができる児童が少しずつ増えてきた。これからも児童が主体となった「あいさつ運動」に取り組んでいきたい。	3	○ 地域で差があるように思う。地域でのあいさつも進んでするようにしたい。
	2 進んで掃除したり、ボランティア活動したりする勤労と奉仕の精神を育てます。	○ 全員が掃除の仕方や自分の役割を理解し、無言掃除に取り組める。 ○ 進んでよいことを見付け、ボランティア活動をしている児童90%以上	○ 清掃班会等を通して、清掃の流れや自分の役割をはっきりさせ、活動後には、しっかりと振り返りをさせる。 ○ 掃除活動やボランティア活動に積極的に取り組んでいる児童を称賛し、意欲付けを図る。	2	○ 進んで掃除をしたり、ボランティア活動をしたという児童の割合は68%だった。 ○ 学級活動や道徳の時間を通して、進んで掃除をしたり、ボランティア活動に取り組んだりしたいという児童の割合を高めていきたい。	2	○ 児童自らボランティアの場所を決めて取り組みせ、達成できたら大いに称賛するなど、褒めて伸ばす取組をしてもらいたい。
	3 思いやりの心とコミュニケーション能力をもった児童を育て、いじめのない学級をつくります。	○ 友達と仲よくしている、学校が楽しいと答える児童が90%以上	○ 楽しい学級、楽しい学校づくりに努め、いじめや不登校の未然防止に努める。 ○ 毎月、心のアンケートを実施し、全職員間で情報の共有化を図るとともに、問題の早期発見・解決に全力を尽くす。	3	○ 友達と仲良くしていると答える児童の割合が95%、学校が楽しいと答える児童の割合は92%だった。 ○ 必要に応じてケース会議等を開き、全職員で情報を共有することで、共通理解、共通実践、早期解決に努めることができた。 ○ 「心にふれあう協議会」を月1回開催し、全職員で児童を見守る体制を整えている。	3	○ これからも、全職員で情報を共有し合い、児童全員が楽しいと思える学校づくりを目指してほしい
	4 目標や希望をもち、その実現に向かって継続して努力する児童を育てます。	○ 目標をもって努力をしている児童が80%以上 ○ 人の役に立つ人になりたいと思う児童（高学年）80%以上	○ 短期的・長期的な目標や具体的な手立てを設定させ、称賛や励ましを行っていく。 ○ 全教育活動を通して、キャリア教育を意識して指導を行い、望ましい職業観・価値観を育てる。	3	○ 目標をもって努力しているという児童は96%、人の役に立つ人になりたいと思う児童は96%だった。 ○ 今後も全教育活動を通して、キャリア教育を推進し、目標や希望をもって、努力する児童の育成を目指したい。	4	○ 素晴らしいと思う。これからも目標をもって努力する児童の育成に取り組んでほしい。

令和5年度 串間市立北方小学校 学校関係者評価書

( 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する )

No. 3

評価項目	評価指標	具体的な数値目標等	方策・手立て	評価	結果及び考察・改善策等	学校関係者	
						評価	結果及び考察・改善策等
本年度の重点目標		<p><b>【知】「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成</b> ～子供が「分かった！ できた！」と実感できるような授業～                      基礎・基本の確実な定着を図る取組、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり、補充指導の場の確保、学習のサイクルの確立、読書教育の推進等</p> <p><b>【徳】思いやりの心と豊かなコミュニケーション能力を身に付けた児童の育成</b>                      思いやりのある態度、あいさつ、言葉遣い、返事の指導、時と場に応じた行動の指導（無言移動など）、豊かなコミュニケーション能力の指導等</p> <p><b>【体】健康や安全について自ら考え行動し、望ましい生活習慣や体力を身に付けた児童の育成</b>                      「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣の確立（特に「早寝」）、「自分の命は自分で守る」ことについての指導、「体力向上プラン」に基づく体力づくりの取組、むし歯予防の指導及び治療率の向上等</p>					
健やかな体づくり	1 家庭との連携を図りながら、正しい基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）を身に付けさせます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 早寝のできる児童が80%以上</li> <li>○ 「しっかり朝ごはん」のできる児童が95%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健日よりや学級通信、参観日の懇談会等で継続的に呼びかけを行い、家庭の協力を得る。また、長期休業明けに生活リズムチェックを活用し、基本的な生活習慣の意識化を図る。また、集計結果を保護者へ知らせ啓発を図る。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2学期の取組の結果では、早寝のできる児童は82%、「しっかり朝ごはん」のできる児童は98%だった。今後も、保護者と連携しながら、機会あるごとに基本的な生活習慣の定着に向けた啓発や具体的な手立てを実践していく必要がある。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 良い結果だと思う。継続して取り組んでもらいたい。</li> </ul>
	2 児童一人一人に応じた、運動やスポーツに親しむ態度の育成や体力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新体力テストの結果が全学年県平均以上</li> <li>○ 運動が好き、楽しいと答える児童が90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新体力テストの結果をもとにした体力向上プランと準備運動10の実践等、各学年の実態に応じて取り組む。</li> <li>○ めあてや目標をもって運動に取り組ませ、協同的に問題を解決していく授業を実践する。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新体力テストの結果では、A判定児童が18%、DE判定児童が23%だった。昨年度に比べて、改善傾向がみられた。</li> <li>○ 運動が好き、楽しいと答える児童は88%だった。今後も、「好き」「楽しい」という気持ちが体力の向上につながっていくような取組をしていきたい。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県平均と比較してどうなのか知りたい。外遊びの奨励を継続して行ってほしい。</li> </ul>
	3 望ましい食習慣を身に付けさせるとともに、食に感謝する心を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食器などを正しく持って好き嫌い無く食べる児童が90%以上</li> <li>○ 弁当の日実施年間3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 給食時間は、各学級において具体的な食に関する指導（マナー等も含む）を継続する。</li> <li>○ 保健日よりや掲示物、学級通信等で弁当の日の啓発を行う。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 好き嫌いなく食べるという児童の割合は71%だった。昨年度に比べて、改善傾向にある。</li> <li>○ 弁当の日は、学期1回実施できた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度と比較して改善傾向が見られたのは良かった。来年度は更に数値が良くなるよう取り組んでほしい。</li> </ul>
	4 むし歯をはじめその他病気やけがのない健やかな体の児童を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ むし歯のない児童（処置済みも含む）の割合90%以上</li> <li>○ 校内のけがの発生月20件以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6月、11月を「歯の健康の重点月間」とし、学級活動を展開するとともに、生活指導週間を通して歯みがきの習慣化を図る。</li> <li>○ けがの発生に関する統計を活用し、けがの具体的な内容を基に全体及び個別に、けがの防止に関する指導を行う。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ むし歯のない児童の割合は75%だった。今後とも児童への歯磨きの指導、保護者への早めの治療の啓発を行っていく。</li> <li>○ けがの発生は、毎月平均17件程度発生している。昨年度に比べ改善傾向にある。けがの予防とともに危険を予知し、回避できる能力の育成も図っていきたい。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者への啓発が必要だと思う。根気強く取り組んでほしい。</li> </ul>

令和5年度 串間市立北方小学校 学校関係者評価書

( 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する )

No. 4

評価項目	評価指標	具体的な数値目標等	方策・手立て	評価	結果及び考察・改善策等	学校関係者	
						評価	結果及び考察・改善策等
本年度の重点目標		<p><b>【知】「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成</b> ～子供が「分かった！ できた！」と実感できるような授業～                      基礎・基本の確実な定着を図る取組、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり、補充指導の場の確保、学習のサイクルの確立、読書教育の推進等</p> <p><b>【徳】思いやりの心と豊かなコミュニケーション能力を身に付けた児童の育成</b>                      思いやりのある態度、あいさつ、言葉遣い、返事の指導、時と場に応じた行動の指導（無言移動など）、豊かなコミュニケーション能力の指導等</p> <p><b>【体】健康や安全について自ら考え行動し、望ましい生活習慣や体力を身に付けた児童の育成</b>                      「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣の確立(特に「早寝」)、「自分の命は自分で守る」ことについての指導、「体力向上プラン」に基づく体力づくりの取組、むし歯予防の指導及び治療率の向上等</p>					
開かれた学校づくり	1 市内小中学校及び近隣の認定こども園との連携を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秋山小との交流会の数を前年度以上</li> <li>○ 市小中高一貫教育関連の教育活動の完全実施</li> <li>○ 地区内認定こども園との連携を学期1回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内の小中高の児童生徒や教職員との交流の機会に進んで関わり、市小中高一貫教育を推進する。</li> <li>○ 認定こども園との交流を計画し、児童と園児の交流や教職員との交流活動を行う。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秋山小との交流は、合同運動会を開くなど計画的に実施することができた。</li> <li>○ 市の小中高一貫教育の取組は計画通り実施することができた。</li> <li>○ こども園との交流も計画通り実施することができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、他校やこども園との連携に取り組んでほしい。</li> </ul>
	2 地域の物的、人的教育資源の情報収集に努め、学校の教育活動に生かします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の「人・もの・こと」を生かした教育活動を 全学年で年間2回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の素材や人材について、地域や行政等を通じて積極的な情報収集に努める</li> <li>○ 地域素材集を積極的に活用した授業づくりを行う。</li> <li>○ 校外学習や体験活動等の意義を児童にしっかりと伝え、活動後の指導の充実も図っていくようにする。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の校外学習では、地域資源を活用した活動を行うことができた。</li> <li>○ 田植えや稲刈り、金柑の収穫体験など、地域と連携した体験活動を実施することができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これからも地域資源の活用に努め、ふるさとを愛する児童の育成に努めてほしい。</li> </ul>
	3 保護者とともにPTA活動を進め、コミュニケーションをとりながら、信頼される学校をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校を信頼し、安心して子どもを預けている保護者が90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々なPTA活動に、保護者とともに教職員が参加することで、信頼関係を築いていく。</li> <li>○ 学級担任を中心に保護者との連携を密にしながら、児童に関する情報を共有し、ともに子どもを育てる意識を常に持つ。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校評価アンケートの結果をみると、95%以上の保護者は学校を信頼し、安心して預けられていると感じているようである。</li> <li>○ PTA関連の行事はほぼ計画通りに実施することができた。</li> <li>○ 学級懇談や個人面談等を通じて、可能な限り保護者との連携を図ることができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 良い結果が出ていると思う。学校を信頼しているという保護者が100%になるよう今後も努めてほしい。</li> </ul>
	4 学校教育の理解と協力に向けて、様々な方法で情報の発信と収集に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級通信等の定期発行及び学校ホームページの定期的な更新</li> <li>○ 毎学期2回の学級懇談会実施と年2回の保護者アンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちの様子や学校の話題を通信・学校ホームページ等に掲載する。</li> <li>○ 家庭や地域から学校への意見を集約し、今後の教育活動の改善に生かしていく。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校ホームページの更新回数を増やすことができた。</li> <li>○ 運動会や教育活動に関する保護者アンケートの結果でも肯定的な評価をいただくことができた。今後も保護者や地域との連携を図りながら教育活動を展開していきたい。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も情報の発信に努めてほしい。</li> </ul>